

「Industrial Romanticism 2」展に出展

～トイレと人との関係を思考する。インハウスデザイナーのもののづくり心を発信～

TOTO株式会社(本社:福岡県北九州市、社長:田村 信也)は、東京・六本木のAXISギャラリーで開催される「Industrial Romanticism 2(インダストリアル ロマンティシズム 2)」展[会期:2026年10月30日(金)～11月8日(日)]に出展します。

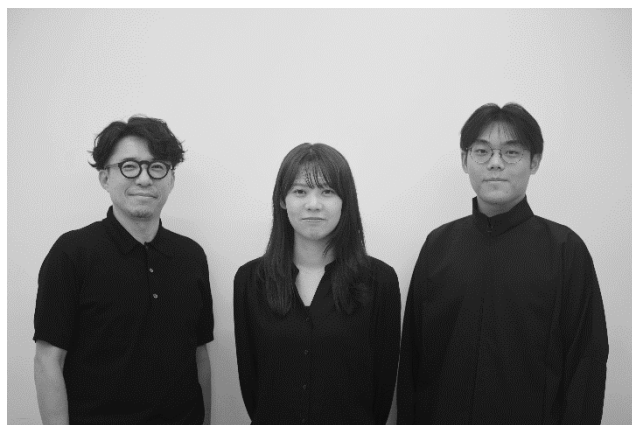
TOTOのインハウスデザインは、衛生陶器の造形美や使いやすさの追求から始まり、時代の変化に応じた水まわり全体の空間提案やユニバーサルデザインの確立、さらには世界各国の暮らしに寄り添う体験設計(UX)へと、その活動領域と役割を柔軟に拡げてきました。

本展では、そうした歩みの中で大切にしてきたデザイン思想をふまえ、トイレ空間の根源的な魅力を探求するコンセプトモデルを展示し、デザイナーの情熱と思想を解き明かします。

そのものづくりの根幹にあるのが、TOTOのデザイン基本姿勢「静かなる存在感」—主人公はあくまでユーザーであり、デザイナーは、ユーザーの毎日に寄り添い、心地よい体験をお届けするためのデザインをする、という精神—です。時代を超えて受け継がれてきたこの思想のもと、デザイナーは研究開発、製造、品質管理などの各部門と濃密な対話を重ね、技術と美しさを高次元で融合させています。さらにこの思想やものづくりマインドを次世代へとつなぎ、技術や文化を理解しながら新しい価値を生み出しています。

TOTOはこれからも、デザインとテクノロジーが融合したTOTOらしい商品をグローバルに普及させることで、「きれいと快適・健康な暮らしの実現」と「社会・地球環境への貢献」の両立をめざしていきます。

デザイナー紹介



迎 義孝 Yoshitaka Mukai (写真・左)

1998年東陶機器(現TOTO)入社。主席デザイナー※1。ウォシュレットや建材開発、通信業界での経験を経て2018年より現職。現在は浴室・キッチン・洗面等の商品デザインを統括。お客様がワクワクする未来の体験を届けるため、異業種との共創を楽しみながら、新しい暮らしのあり方を模索中。

中村 亜湖 Ako Nakamura (写真・中央)

2025年TOTO入社。水栓金具やUIの先行研究をはじめ、システムバスや洗面化粧台のデザイン業務に携わる。デジタルスキルと情緒的なストーリーテリングを融合し、日常にミクロなサプライズと心和む愛着を生み出すことで、新たな価値観と空間体験の創出を目指す。

耿 海博 Haibo Geng (写真・右)

2026年TOTO入社。現在はシステムバスのデザイン業務を担当。私たちが日々の中で無意識に行う行為や、当たり前の日常に潜む「ちょっといい」という感覚に着目。意識されないほど自然に暮らしへと溶け込み、平和で素直な、より豊かな毎日を創出するデザインを目指す

※1:[主席デザイナー] 高度な専門性と優れた実績を持つデザイナーを社内認定・評価するスペシャリスト制度による役職で、プロジェクトやデザイン開発を牽引・統括するデザインリーダー。プロジェクトやデザイン開発を牽引・統括するデザインリーダー

出展内容

思索の座(しさくのざ) The Seat of Contemplation / コンセプトモデル

トイレは、最もひとりになれる、ほんと自分に還る場所。お気に入りの椅子に座って物思いにふけるような、静かな時間を生み出す便座があってもいい。100年きれいと快適を追い求めてきた先人のバトンを受け継ぎ、大きな変化でなくとも暮らしの一幕を変え、新たな文化や習慣のきっかけをつくることこそ、インハウスデザイナーにしかできないロマンだと思う。そんな想いから、見慣れた白い佇まいに寄り添う、木目の座を仕立てた。水まわりで安心して使えるよう防水処理を施し、清潔さを保ちながら木肌の温もりを肌へ伝える。冬はそっとカバーを添え、夏は木のひんやり感を楽しむ。手をかけ、暮らしを整える小さな余白は、いつしか愛着へと変わっていく。衛生設備から心を整える椅子へ。ただ、心を落ち着かせるためにこの場所へ向かおう。

企画展概要

名 称: Industrial Romanticism 2(インダストリアル ロマンティシズム 2)展

日 時: 2026年10月30日(金)～11月8日(日) 11:00 - 20:00(最終日は17:00まで)

会 場: AXISギャラリー(東京都港区六本木5-17-1 AXISビル4F)

入場料: 無料

共 催: Industrial Romanticism展実行委員会、AXIS

企 画・ディレクション: 松山祥樹、横関亮太、AXIS

参加企業: シャープ株式会社、ソニーグループ株式会社、パナソニック株式会社、富士フイルム株式会社、株式会社ポーラ、三菱電機株式会社、ヤマハ株式会社、TOTO株式会社 (計8社)

グラフィックデザイン: 谷内晴彦 (desegno ltd.)

空間デザイン: 歌代 悟 (株式会社博展)

関連サイト: <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000054.000027474.html>



TOTOのデザインについて

TOTOのデザイン思想「静かなる存在感」に込められた想いは、ウェブサイトでご覧いただけます。
また、デザインのこだわりやデザイナーの想い、デザイン賞受賞実績もご紹介しています。

<https://jp.toto.com/pages/design>

共通価値創造戦略 TOTO WILL2030

きれいと快適・健康



環境



人とのつながり



「社会的価値・環境価値」と「経済価値」を同時に実現する「共通価値創造戦略 TOTO WILL2030」では、「きれいと快適・健康」「環境」「人とのつながり」を取り組むべき重要課題「マテリアリティ」としてサステナビリティ経営を強化し、国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」にも貢献していきます。

<https://jp.toto.com/company/profile/philosophy/managementplan>